2024年９月発行

小樽市新総合体育館ニュースレター

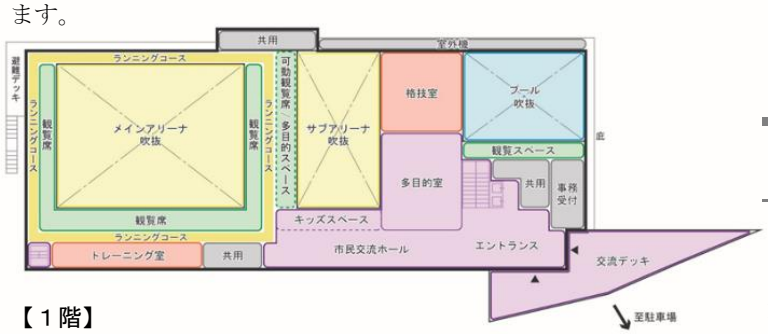
Vol.02

新総合体育館の「基本計画」を策定しました

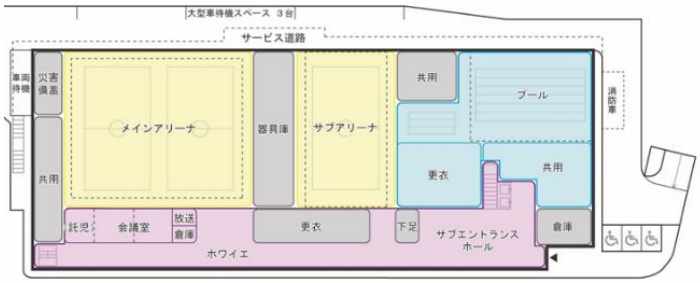
今回は、前回（Vol.01）に引き続き、2024年2月に策定した「小樽市新総合体育館基本計画」から、配置計画や事業スケジュールなどについてお知らせします。

諸室・平面計画

【２階】
・建物内へのメインアプローチは２階エントランスからとし、小樽公園運動場のレベルからアクセス可能なエントランスを設置します。２階には観覧席（約1,000席）やランニングコースも配置します。



【１階】
・メイン・サブアリーナ、プール室は１階に配置します。



※諸室の配置は現時点でのイメージであり、今後、変更になる可能性があります。

主な諸室の概要

⑴　**メインアリーナ**
・日常的な練習やスポーツ競技大会での利用のほか、イベントやコンサート等の会場としての利用も想定します。

⑵　**サブアリーナ**
・日常的な練習のほか、スポーツ大会開の第2会場・ウォーミングアップ会場・控室等としての利用も想定します。

⑶　**格技室**
・剣道、柔道、空手、合気道等の練習及び大会の利用のほか大会開催時の控室等としての利用も想定します。

⑷　**多目的室**
・ヨガやダンス等の軽運動やイベント利用のほかスポーツ大会開催時の控室等としての利用も想定します

⑸　**トレーニング室**
・基礎体力向上を主な目的とした施設とし、若者から高齢者まで幅広い年代が利用可能な機器を設置します。

⑹　**キッズスペース**
・子どもたちが体を動かす楽しさを体感できるスペースとし、魅力ある遊具を設置します。

⑺　**プール室**
・水泳用プールは、25m・6レーンの公認プールを基本とし、水深の確保や入水用スロープを設置します。

⑻　**市民交流スペース**
・ホールやギャラリー、休憩機能を持ち、様々なイベントに利用できるスペースで、運動利用の有無に関わらず、日常的に集い、交流できる場とします。

構造・設備計画

○構造計画
防災活動の拠点となるため「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」における「地域防災計画において避難所として位置づけられた官庁施設」に相当する耐震性能を確保します。

○設備計画
快適性、経済性を考慮し、維持管理のしやすい設備の導入を図ります。また、太陽光発電の導入や、市の公共施設としては初となるZEBOriented（エネルギー削減率30%）以上の認定を目指すなど、省エネ・再エネ設備を導入し、ゼロカーボンに配慮します。

事業スケジュール

現在行っている事業者選定業務では、令和７（2025）年末には事業者を選定の上、契約を締結し、その後、設計・建設におよそ３年を要し、令和１１（2029）年度中の供用開始を目指しています。

事業者選定委員会を設置しました

８月５日（月）小樽市役所にて第1回小樽市新総合体育館整備ＰＰＰ/ＰＦＩ事業者選定委員会が開催されました。会議冒頭には、迫市長から北海道大学客員教授の石井吉春会長へ、諮問書の手交が行われました。

次号（11月発行予定）では、事業者選定委員会や事業者選定スケジュールについてお知らせする予定です。

【発行・編集】小樽市教育委員会 教育部新総合体育館整備担当　【お問い合わせ】0134-32-4111（内線7556）